

令和5年度 日光清掃登山（栃木県山岳スポーツクライミング連盟共催）

7月2日（日）

参加者：会員 渡邊（開会式のみ）、桑野、増渕、猿山、後藤、仲畠、大島、麦倉
ゲスト 猿山夫人、後藤夫人、板橋夫妻、杉浦

行程

湯元ビジターセンター（開会式）	==	竜頭の滝臨時駐車場	—	竜頭の滝	—	高山登山口					
7：30		8：20	8：30	8：40		8：50					
—	高山山頂	—	小田代ヶ原	—	戦場ヶ原展望台	—	石楠花橋	—	竜頭の滝	—	駐車場
10：10	11：35	12：00	13：00		13：20	13：45		14：00			

この梅雨の時期を忘れたかのような、晴れ渡る青空の下、毎年恒例で、48回を数える栃木県山岳スポーツクライミング連盟との共催の日光清掃登山が、7月2日行われました。本支部の清掃登山活動に参加したメンバーは、会員の参加7名、ゲスト5名でした。渡邊支部長は開会式のみ参加となりました。また、本支部会員で他の所属山岳会の清掃登山活動に参加し、本支部と別行動をする会員もいました。



開会式後会員（ビジターセンター前）

開会式では、岳連の自然保護委員の方により進められ、岳連の桑川会長の挨拶に続き共催団体として、渡邊支部長より挨拶がされました。その中で、古いテープに残された、榎有恒の言葉を引用し、「ものの豊かさは心の豊かさにならず、登山や自然の豊かさこそ、心の豊かをもたらず」を旨とする挨拶し、山の日の意義などを述べました。



登山行動開始前の集合

開会式後、竜頭の滝臨時駐車場に移動して、身支度を調べて、渡邊支部長に見送られながら、行動開始となりました。今回は、7月下旬に予定されている、本支部で開催する親子登山教室の登山実習の下見を兼ねています。コースの確認やトイレ等の施設の確認をしながら、親子登山教室で歩くルートを辿って行きます。まずは、竜頭の滝へ移動しました。そこでトイレの確認などして、滝脇のコースを上っていきます。先

ずは、登る階段右手にある馬頭観音について桑野先生より解説をいただきました。かつて

の金山の繁栄の時代のもで、産業における交通の要衝であったことが説明されました。

竜頭の滝上の登山口からは、天気も良いため快調に登り、稜線上に出たところでまずは休憩をして、涼しい風に体を癒やしました。周りにある樹木の、特にシャクナゲの越冬や、ダケカンバとシラカバの葉脈の違いなどの解説が桑野先生より行われました。また、奥日光の造山活動にも解説は広がり、休憩では、体を休めて頭を働かせるそんなペースになりました。1565mピークで小休止して、親子登山教室での読図地点の設定の確認をしました。



高山山頂の集合写真

そこから、気持ちの良い尾根上の道を進むと本日の最高点、高山山頂に皆無事に着きました。山頂で休憩後記念写真を撮り、木々の間からかすかに見える中禅寺湖や戦場ヶ原などの景色をのぞき込みながら休憩しました。山頂を出ると、急な下り坂にかかります。危なげなく下山し、中禅寺湖と小田代の分岐点で休憩、そこからは気持ちの良いなだらかな樹林の中の草原歩きになり、皆会話も弾みます。車道に一旦出て幕張峠を越えると、小田代ヶ原に達して、トイレのあるバス停につきました。小田代ヶ原の景色を遠目に見ながら、バス停付近で昼食休憩を取りました。

小田代周辺では、オダマキ、ハクサンフウロなどが咲いており、目を楽しませてくれました。さらに湿原では、ショウブやアヤメなどもありさらには、咲き始めたホザキシモツケなどがありました。戦場ヶ原展望台で休憩して、なだらかな道を進み、石楠花橋につき、そこからは滝を眺めながら、竜頭の滝まで気持ちいいはインキングを楽しみました。

元の駐車場に14時には戻り、ゴミの処分の確認と親子登山教室のコースを確認して、散会となりました。

清掃登山では、ゴミはさほどありませんでしたが、自然の移ろいや、歴史、さらに植物や山岳形成などの自然の仕組みなど、桑野先生の解説により、趣なる参考となりました。